



住みたいまちへ

① 伯馬の各自治体に比べ、住みたい田舎ベストランキングが低い原因の分析と考えは。② 雑誌の



小谷 康仁 議員

たくましい創造力が足りない 他市町に劣らない展開をしている

順位づけが新聞に掲載されるので、結果を軽んじてはいけなさと考えるが。③どの自治体も移住定住の促進を必死に行っている。他の自治体に負けてはいけなさと考えるが。④スポーツが盛んだと地域が活性化すると考えるが、施設の整備を進める考えは。⑤オリンピック

選手を輩出する町を目指す考えはあるのか。
町長 ①コロナ禍で進んだりリモート化やオンライン対策の該当が少なかつたためです。②一つの雑誌で順位が上がるたびに、一喜一憂することなく現実のあり方を見ていただきます。



③ランキングに左右されず、移住を希望される方の思いに重きを置き施策を展開します。④長期計画にのっとり、将来を見据えた整備に心がけて行きます。⑤オリンピック選手が輩出できる町になればとの思いで取り組んでいます。



災害時電源の至急確保を！

昨年12月、町全区に起きた豪雪による停電と断水は3、4日も続いた。①上下水道施設、避難所、各自治会公民館等、基幹施設、病院、介護施設に



藤井 昌彦 議員

大規模災害の検証、対策は 各担当課で課題抽出します

非常用電源、発電機の整備は。②大規模災害情報確保は。③検証と今後の対策は。
町長 ①水道は、26のうち5上水道、下水道は23の内5送水ポンプ場、避難所は本庁、地域局の非常用電源を使い、各公民館には携帯用発電機、香住病院は本、旧館に設置、介護施設はありません

が、社協がポータブル発電機を所有、各自治区では各補助金で購入しています。②町職員の情報収集班や県のフェニックス防災システムや各関係機関とホットライン等です。③各担当課から本災害の課題点を集め、再度検討し、地域防災計画の修正もしていきます。

